

劣性突然変異

劣性突然変異 れっせいとつぜんへんい

人間の遺伝的影響としての突然変異には、次の世代または次の次の世代に発現する突然変異と、最初の2～3世代では殆ど発現せず、その後の世代に徐々に遺伝的障害が蓄積して発現する突然変異とがある。前者の突然変異を優性突然変異といい、後者の突然変異を劣性突然変異という。

<登録年月>

1998年01月
